

企画競争実施結果

令和7年10月16日
経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 原子力政策課

事業名：令和7年度高温ガス炉実証炉開発事業（燃料の濃縮に係る研究開発）

(採択事業者)

事業者名	法人番号	提案価格
日本原燃株式会社	4420001011339	3,480,000千円

(提案事業者名)
日本原燃株式会社

(審査委員属性)
大学教授
大学教授
大学教授
大学教授
大学准教授
※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	委員D	委員E	合計
日本原燃株式会社	125	143	104	130	132	634

提案事業者名	必須事項	事業の実施方法、実施スケジュールが現実的か。	実施方法等について成果を高めるための効果的な工夫が見られるか	事業の関連分野に関する知見を有しているか。	本事業を円滑に遂行するために、事業規模等に適した実施体制をとっているか。	コストパフォーマンスが優れているか。また、適正な積算が行われているか。	人材確保に向けた取組を行っているか。	産業競争力強化への貢献・実用化を進めているか。	合計
日本原燃株式会社	適	123	60	95	94	42	42	178	634

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
日本原燃株式会社	・提案者の役割分担や計画が明確に説明され、提案の研究内容は本事業の目的を十分に満たしていると確認できたため、本事業の実施者として適していると判定できる。 ・研究開発の期待される成果については、ウラン濃縮技術の機微性を考慮しつつも可能な範囲で、広く一般から理解を得られる工夫が必要である。 ・提案者は、本事業に係る知見・技術・実績を有し、採点では人材確保等での加点が少ない一方、事業の実施方法、成果を高める工夫、事業者の持つ知見、産業競争力等で十分な加点があることから、十分に今回の事業の目的を果たせると予想される。 ・将来の実用化に向けた競争力確保可能な成果になるよう、提案者には再委託先に対する適切な指示と取りまとめを求めたい。また、地元・関連企業との効果的な連携による相乗効果を期待する。 ・既存装置の有効利用や将来的な可能性を検討していることは評価できる。将来に向け、海外事業者と肩を並べることができるような研究開発を期待する。